

バルクヘテロ接合型有機太陽電池の構造最適化による開放端電圧向上

木本, 祥紀

<https://doi.org/10.15017/1807078>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	木本 祥紀			
論文名	バルクヘテロ接合型有機太陽電池の構造最適化による開放端電圧向上			
論文調査委員	主査	九州大学	准教授	藤田 克彦
	副査	九州大学	教授	服部 励治
	副査	九州大学	教授	吾郷 浩樹

論文審査の結果の要旨

本論文は、バルクヘテロ接合太陽電池において、素子構造と開放端電圧の相関を系統的に明らかにし、複数のドナー材料を用いた場合や様々なバッファ層を用いたときの素子設計の指針を与えるもので、有機エレクトロニクスに寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。